



<令和5年度 1月号>

令和6年1月9日

横浜市立新石川小学校

学校だより

【学校教育目標】

豊かなかかわりを通して
ともに高め合い 主体的に取り組む子

学校 HP はこちらから

TEL911-6281 FAX912-4892



春立てる霞の空に…

校長 小嶋 千里

元旦に発生した能登半島地震により、犠牲となられた方々におくやみを申し上げますとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

「春立てる霞の空に…」は昔に習った「奥の細道」の冒頭の言葉です。中学生だった自分なりに芭蕉の旅の始まりへの期待と不安を感じました。これから始まる一年に思いを重ねます。新年の挨拶の「あけまして」は平仮名あるいは漢字「明けまして」を用いますが、3つの「あける」を子どもたちに期待し、その姿に「おめでとう」を言える一年にしたいと思います。



港の見える丘公園からの初日の出

「明ける」

年が明け新春を迎えた今は、これまでの自分の弱さを克服しよう、さらに強みを生かそうと、新たな自分の姿を思い描き、その目標に向けて努力していこうとする強い気持ちを抱く時です。自分自身の新しい時代を明けようとする子どもの姿に「おめでとう」と言いたい。

「開ける」

壁を取り除いてふさがっている道を開ける。わからないこと、できないこと、直したいことなどに真摯に立ち向かい、問題解決の道を自分の力で開けていこうとする子どもの姿に「おめでとう」と言いたい。

「空ける」

スペースを空ける。例えば、優しさ、創造性、ユーモアを生むための心のスペース。「私には絶対に無理」「できない」と拒まず、「やってみよう」と挑戦したり、他に教えを請うたりできること、様々な角度から物事を見ることや相手を思いやることのできる心の広がり空けていこうとする子どもの姿に「おめでとう」と言いたい。

それぞれに異なる意味をもつ「あける」ですが、これからの世の中を生きていく子どもたちに必要な力を見ることが出来ます。子どもたちが自分自身を「あける」ことができるように教職員一同尽力して参ります。今年もどうぞよろしくお願い致します。